

● 歯肉がん

**症例 10 : 30代 女性**

病状 : 2012年6月に歯肉がんと診断され、7月に手術。その後、高濃度ビタミンC点滴療法などを行う。2013年7月より全身温熱療法施行

治療 : 2013年12月末より点滴 (C.I.M.N 200ml×1/日) を10日間行う

結果 : 点滴開始前は、がんによる圧迫のため会話が困難であったが、10日間の治療終了後は、スムーズに会話ができるようになっていた

● 十二指腸がん

**症例 11 : 80代 男性**

病状 : 十二指腸乳頭部がん、肝転移

2012年1月に上記診断、同3月に切除手術を行った。その後、肝転移を認めたため化学療法を行うも、副作用のため中止。2013年7月より当クリニックにて全身温熱療法を施行。10月初旬の腹部CTにて、肝臓の病変に変化なく、右傍大動脈リンパ節転移を認めた

治療 : 10月末よりコロイドヨード療法 (C.I.M.N 30ml×8回/日の内服、週2回の注射) を開始

結果 : 11月末のMRIでは、肝転移の像は不変であったが、右傍大動脈リンパ節の腫大は消失していた

● 食道がん

**症例 12 : 40代 女性**

病状 : 下部食道で閉鎖しかけたステージIVの食道がん

治療 : 化学療法と放射線療法を検討していたが、完治が望めないとのことでコロイドヨード療法を希望した。飲水は可能であったため、C.I.M.Nを1回30ml、2時間ごとに1日8回内服した。また、週5回C.I.M.Nの注射も併用した

結果 : 2週間後、なんとか固形物も摂取できるようになり、4週間後には固形物を問題なく摂取できるようになった。コロイドヨード療法開始後、3ヵ月で内視鏡上、食道がんは消失。CT画像上、縦隔リンパ節の腫脹も消失した

● 食道がん

**症例 13 : 50代 男性**

病状 : 食道がん術後、同縦隔リンパ節転移と肺転移あり。食道がん切除 (再建胸骨後) 後の再発、吻合部の再発はなし

治療 : 転移のため化学療法を予定していたが、完治は望めないため、コロイドヨード療法を希望された。1回30mlのC.I.M.Nを2時間ごとに1日8回内服することとした

結果 : 1ヵ月後の検査では変化がみられなかったが、2ヵ月後には腫瘍が半分に縮小し、3ヵ月後では検出されなくなった。PET画像上も異常はみられなかった